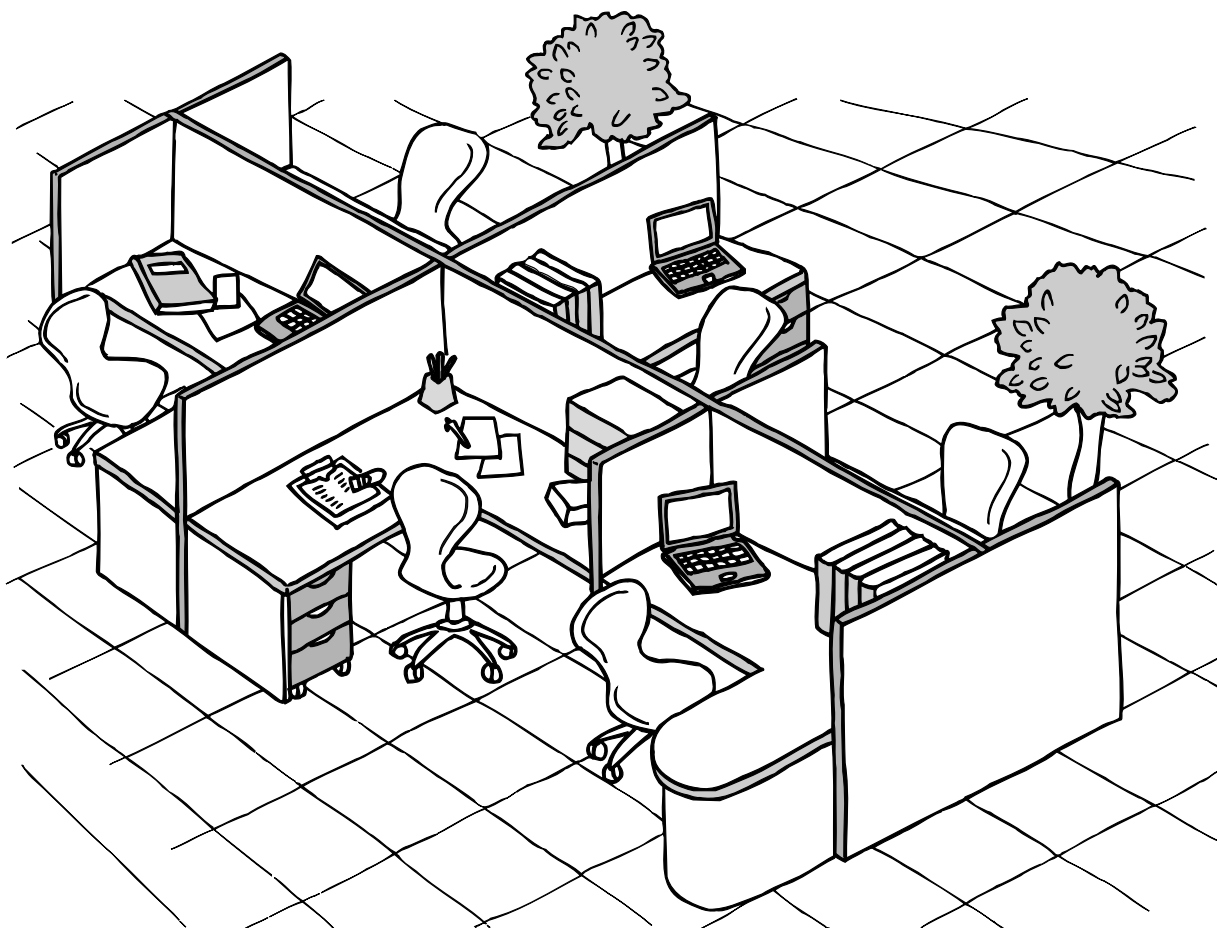
Panasonic

取扱説明書（基本編）

ファクシミリ

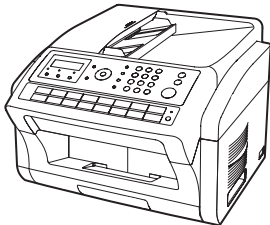
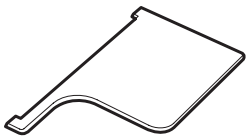
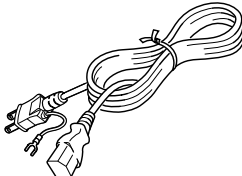
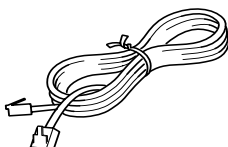
品番 UF-5500

Panafax

このたびはファクシミリをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

保証書別添付

■ 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

■ **ご使用前に「安全上のご注意」（7 ～ 10 ページ）を、必ずお読みください。**

■ 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、 取扱説明書とともに大切に保管してください。

本体 / 付属品 / 添付品を確認する

梱包をほどきましたら、次のものがすべて揃っていることをご確認ください。

本体・付属品

添付品

- 取扱説明書（基本編）
- かんたん設置ガイド
- CD-ROM
- 保証書

ネットワークとの接続について

ネットワークとの接続および使用に際しては、本製品以外にソフトウェアおよび LAN 伝送路用品が必要です。

各サービスについて

発信者番号通知、ダイヤルインサービスは、あらかじめ NTT との契約が必要です。本サービスの詳細につきましては NTT にお問い合わせください。
NCC 回線をご利用の場合は、NCC 各社でサービス内容が異なります。発信者番号通知、ダイヤルインサービスの詳細につきましては、ご契約の NCC にお問い合わせください。

本書の説明は、Microsoft® Windows® 2000 日本語版、Windows® XP 日本語版、Windows Server® 2003/2003 R2 日本語版、Windows Vista® 日本語版、Windows Server® 2008/2008 R2 日本語版、Windows® 7 日本語版を前提として表記しています。
本書中で使用している次の用語は、各社の商標または登録商標です。
Microsoft、Windows、Windows Server、Outlook、Excel : 米国マイクロソフト社の米国およびその他の国における登録商標です。

本書の見かた

本書の表記について

本書では、本機の操作パネルの各キーについて、次のように表記しています。

<table>
<tr><td>
①②③ セット クリアー
など</td><td>UF-5500 の操作パネルの各キーを示します。
例： を押す</td></tr>
</table>

本書で使用する記号について

本書では、次の記号を使用して概要や操作を説明しています。

<table>
<tr><td>お願い

お知らせ</td><td>お願い　：操作をするときにご注意いただきたい内容を示しています。
操作の前に、必ずお読みください。
お知らせ：操作の参考となる情報を示しています。必要に応じてお読みください。
例：
お願い　1. ドラムカートリッジのドラム表面には手を触れないでください。ドラムの表面に手の油や汚れが付着すると、きれいな印字ができなくなります。</td></tr>
<tr><td></td><td>参照先を示しています。
例：☛ 原稿のセットのしかた（p.25）
例：☛ CD-ROM 内に格納されている『取扱説明書 （本体編）』の「6 章 スキャナーの操作」</td></tr>
</table>

説明書の体系

本機には、次の取扱説明書が用意されています。

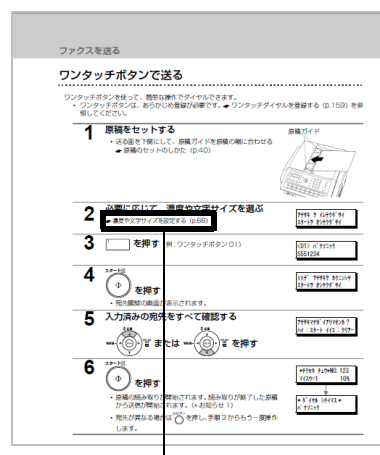
<table>
<tr><td>取扱説明書　基本編（本書）
</td><td>安全上の重要なお知らせと、本機の基本的な使い方を記載しています。
● 詳しい操作を知りたいときは、CD-ROM に格納されている『取扱説明書 （本体編）』、『取扱説明書 （ソフトウェア編）』をお読みください。</td></tr>
<tr><td>CD-ROM
</td><td>操作の詳しい内容を知りたいときにお使いください。
『取扱説明書 （本体編）』
ファクス / インターネット FAX/ コピー / スキャナー / プリントの詳しい内容と操作、登録や設定、トラブル時の対応などを記載しています。
『取扱説明書 （ソフトウェア編）』
プリンタードライバー、Panafax デスクトップ、ファクス受信ソフトなどのアプリケーションソフトウェアの使い方について説明しています。
※ CD-ROM内には、上記の取扱説明書と共にPCアプリケーションソフトウェアも格納されています。</td></tr>
</table>

『CD-ROM』の使い方

PDF 形式の取扱説明書を閲覧する場合は、次の手順で操作してください。

1. **『CD-ROM』をコンピューターにセットします。**
   [Panasonic Document Management System]の画面が自動的に表示されます。
2. **[ドキュメント] タブをクリックします。**
   取扱説明書の一覧が表示されます。
3. **閲覧したい説明書をクリックします。**
   Adobe® Reader® が起動され、PDF 形式の説明書が表示されます。
4. **次の操作で、しおりやリンクを利用しての説明書を閲覧します。**

■しおりの使い方

■参照ページの表示方法

（上記の画面の内容は、実際の取扱説明書と異なる場合があります。）

お知らせ

取扱説明書の PDF ファイルは、次の手順で閲覧することもできます。

1. Windows® のエクスプローラーを使い、[コンピューター] または [マイ コンピュータ] の CD-ROM アイコンを右クリックし、[開く] を選択する
2. 「OI」フォルダーの「Japanese」を開く

各種ソフトウェアについて

本機がネットワークに接続されているか、または USB ケーブルでコンピューターに接続されている場合は、次のソフトウェアを利用できます。

- インストール方法、操作方法については、CD-ROM 内に格納されている『取扱説明書（ソフトウェア編）』を参照してください。

接続方法		説明
ネットワーク接続時	USB 接続時	
プリンタードライバー		UF-5500 のプリンタードライバーです。Microsoft® Windows® のアプリケーションソフトからプリントするときに使います。
クイックイメージナビゲーター		UF-5500 をスキャナーとして使用する場合や受信文書の編集に使うソフトウェアです。スキャンデータや受信データなどの文書を、お使いのコンピューターで管理（閲覧、保存、編集）するためのソフトウェアです。
コミュニケーションユーティリティー	**ドキュメントスキャナー**	UF-5500 をスキャナーとして使用する場合に使うソフトウェアです。読み取った画像をお使いのコンピューターで受信するときに使います。
ファクス送信ドライバー ファクス受信ソフト	**Panafax デスクトップ**	コンピューターでファクスを送受信する場合に使うソフトウェアです。
デバイスエクスプローラー（デバイスモニター）	―	コンピューターでネットワーク上の装置の接続状態や装置の状況を確認するためのソフトウェアです。
ネットワーク装置設定 / アドレス帳編集	―	UF-5500 のシステム登録を変更したり、電話帳を管理したりするためのソフトウェアです。
Panasonic Application Manager		お使いのコンピューターにインストールしたソフトウェアの更新を管理するためのソフトウェアです。
ジョブステータスユーティリティー	―	プリント、ファクス送信の完了を通知するためのソフトウェアです。
―	**ポート選択ユーティリティー**	同じコンピューターに別の装置を接続する場合に、ポート（例：USB、LPT1）を選択するために使用するソフトウェアです。

● 最新版のソフトウェアは、下記の Web サイトからダウンロードしてお使いください。
http://panasonic.biz/doc/fax/download/index.html

目次

安全上のご注意 （必ずお守りください）

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。
	気をつけていただく内容です。

⚠ 警告

■コンセントや配線器具の定格を超える使いかたをしない

禁止

火災・感電の原因になります。

■定格 15 A・交流 100V のコンセントを単独で使う

他の機器と併用すると、発熱による火災の原因になります。

■ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

ぬれ手禁止

感電の原因になります。

● ぬれた手をよくふいて電源プラグ（金属でない部分）を持ってください。

■電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

● 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

■電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない

傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない。

禁止

傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

● コードやプラグの修理は、サービス実施会社へご相談ください。

■電源プラグのほこりなどは定期的にとる

プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

● 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

⚠ 警告

■機内に水や金属物（クリップやステープル針など）が入ったときは、すぐに電源プラグを抜く

機内の配線がショートして、火災の原因になります。

電源プラグを抜く

● 電源プラグを抜いて、サービス実施会社へご連絡ください。

■本機を分解・改造しない

分解禁止

レーザー光線による視力障害、または高温部分や高電圧部分にさわるとやけどや感電の原因になります。

● 修理は、サービス実施会社へご相談ください。

■煙が出ている、変なにおいや音がするときは電源プラグを抜く

そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

電源プラグを抜く

● 使用を中止し、サービス実施会社へご相談ください。

■シンナー・ガソリンなどの引火性の高いものの近くに設置しない

ガソリンなどが発火し火災の原因になります。

禁止

■必ず、アース線接続を行う

漏電した場合は、火災・感電の原因になります。

アース線接続

● アース線接続ができない場合は、サービス実施会社へご相談ください。

■アース線接続は、電源プラグをコンセントにつなぐ前に行う
また、アース線接続を外す場合は、電源プラグをコンセントから抜いてから行う

感電の原因になります。

■アース線は、ガス管・水道管や避雷針などに接続しない

禁止

接地が不十分だったり、落雷などにより、感電したり、火災の原因になります。

■電源プラグを抜くときは電源コードを引っぱらない

禁止

コードが傷つき、火災、感電の原因になります。

● 電源プラグを抜くときは、必ずプラグ（金属でない部分）を持ってください。

■付属品の電源コードは、他の製品に使用しない

禁止

火災や感電の原因になります。

■接点部に触れない

高圧注意

感電の原因になります。

■雷が鳴ったら、本機や電源プラグに触れない

接触禁止

感電の原因になります。

■狭い場所で使用するときは換気をよくする

● 本機を長時間連続で使用する場合や、大量の印刷を同時に行う場合は、特にご注意ください。

⚠ 警告

■自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くで使用しない

禁止

本機からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

■清掃するときは、必ず電源を切る

液体や霧状の洗剤を使用しないでください。

■通風孔などから、本機内部に異物を入れない

禁止

火災・感電の原因になります。

● 本機に液体をこぼさないようにしてください。

■液体（合成洗剤や、研磨剤入りの洗剤など）を電話機コードのプラグにこぼしたり、電話機コードを濡らさない

禁止

火災の原因になります。

● 万一、電話機コードが濡れた場合は、すぐに電話機コードを壁のコンセントから抜き、使用を中止してください。

■次のような場合は、すぐに電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

サービス実施会社へご相談ください。
- 電源コードに破損や擦り切れがあるとき
- 本機が雨や水にさらされて濡れているとき、または本機に液体をこぼしたとき

● 本機部品を電子レンジで乾かさないでください。回復不能な故障の原因になる恐れがあります。
- 取扱説明書に従って操作しても正しく動作しないとき
  取扱説明書に記載してある操作だけを実施してください。不適切な調整や操作による故障は、高額な費用を要する場合があります。
- 本機を落下させたり、物理的な損傷があったとき
- 本機の性能に特徴的な変化があったとき

■床、土台が不安定な場所や振動の激しい場所へは設置しない

禁止

本機が倒れて、けがをする原因になることがあります。

■油煙や湯気や水のかかる場所、ほこりの多い場所には置かない

禁止

火災、感電の原因になることがあります。

■本機の通風孔をふさがない

禁止

機内に熱がこもり火災の原因になることがあります。

■取扱説明書で指示がない部分は操作しない

禁止

高温部分や突起のある部品にさわると、やけどやけがをする原因になることがあります。

● 内部をさわるときは、十分に注意してください。

■本機に換気扇、クーラー、換気口などの風が直接当たる場所では使用しない

禁止

機内に熱がこもり変形の原因になることがあります。

安全上のご注意　（必ずお守りください）

⚠注意

■紙づまりはそのまま放置しない

禁止

高温部の紙づまりを放置すると紙が発火し、火災の原因になることがあります。

● 紙づまりは確実に取り除いてください。

■電源コードは必ず付属のものを使用する

火災、感電の原因になることがあります。

■高温表示部とその周辺にはさわらないよう注意する

高温注意

高温部分にさわるとやけどの原因になることがあります。

● 紙づまり処置などで内部をさわるときは、十分に注意してください。

■鎖の長いブレスレットやネックレスなどをつけて操作しない

禁止

機内に触れたり、巻き込まれて、感電やけがをする原因になることがあります。

● 万一事故がおきたときは、電源プラグを抜き、サービス実施会社へご連絡ください。

■本機に重いものを置いたり、乗ったり、トレイなどに体重をかけたりしない

禁止

物が落下したり、転んだり、落ちてけがをする原因になることがあります。

■トナーまたはトナーの入った容器を火中に投じない

禁止

トナー粉がはねて、やけどの原因になることがあります。

■電源スイッチをオフ／オンしても“ソウチ　カクニン”が表示され続けたり、異音など異常な動作をしたときは、必ず電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

火災・感電の原因になることがあります。

●“ソウチ　カクニン”のエラー番号をメモして、サービス実施会社へ連絡してください。

■寒い場所から暖かい場所へ移動した後は、30 分ほどたってから電源を入れる

すぐに電源を入れた場合、機器内部で結露が起こり、誤動作の原因となります。

● 本機が周辺温度に対応するまで放置してから電源を入れてください。

■本機を移動するときは、上下逆さまにしたり、横向きにしたりしない

禁止

■防水端子以外は、電話回線端子を濡れる場所に置かない

禁止

■電話回線に接続しているとき、絶縁処理されていない電話機コードや端子には触れない

禁止

● 電話機コードを接続したり、修理したりするときは十分に注意してください。

■電話機コードを接続したり、修理したりするときは十分に注意する

■動作中に光源ランプを直視しない

禁止

ランプの光により、目を傷める原因になることがあります。

■受信開閉部を閉じるとき指のはさみこみに注意する

指はさみ注意

けがの原因になることがあります。

■トナーまたはトナーの入った容器を子供の手の届くところに置かない

禁止

誤ってトナーを飲み込むおそれがあります。

管理責任者へのお願い

機器の機密保持のため、管理責任者は、機器の設置、ネットワーク接続、ネットワーク構築、セキュリティ機能の設定、機器の交換や廃棄まで、下記のセキュリティ対策を実行してください。

1. 管理責任者は、サービス技術者がメーカー、関係会社、販売会社の社員であることを、身分証明書の提示を求めて確認してください。また、電話やメールで装置情報を伝えないでください。

2. 本機が接続されているネットワークから外部ネットワークに接続する場合は、ファイアーウォールを介して接続することをお勧めします。
クライアントコンピューターまたはサーバーに本機を接続する場合は、盗聴防止のため、スイッチングハブを利用したネットワーク環境を形成することをお勧めします。

3. キーオペレーターコードは、セキュリティ保持のために重要な情報です。
キーオペレーターコードは、初期値を変更し、パスワードが漏えいしないように機密を保持してください。
キーオペレーターコードの変更方法については、CD-ROM 内に格納されている『取扱説明書 （本体編）』の「1 章 本機を使用するための準備 」の「キーオペレーターコード（管理者パスワード）を設定する」を参照してください。

4. 本機を悪意の第三者による不正操作から防衛するため、キーオペレーターコードの設定では、次を実施してください。
① 設定できる桁数の最大までを利用して設定してください。
② 設定できる文字種類を、多く組み合わせてください。
③キーオペレーターコードは定期的に変更してください。

キーオペレーターコードの設定、変更時には、管理者だけが設定画面を見られる環境にし、情報が漏えいしないよう、お客様の責任において管理してください。

5. 本機を移動 / 廃棄する場合は、事前に完全にデータを削除してください。

6. 読み取りデータ（テキストとイメージ）、受信文書、設定 / 登録された情報（宛先情報）の管理は、ユーザー様の責任となります。装置の故障でこれらのデータが破損したり消失した場合、修復はできません。
保証の範囲外となります。

7. 誤った設定をすると、設定が漏れたり、本製品の使用を妨げる可能性があります。
設定をする場合は、慎重に詳細を確認してください。

8. 時計は調整が必要です（月平均 :1 分程度）。

キーオペレーターは、本機のセキュリティの維持と管理、不正アクセスの防止に、重要な役割を果たしています。取扱説明書で説明されている内容を理解し、上記のセキュリティ対応を確実に実行してください。

取り扱い上のお願い

■ レーザーの安全性について

本機のプリンターでは、レーザーを使用しているので注意する

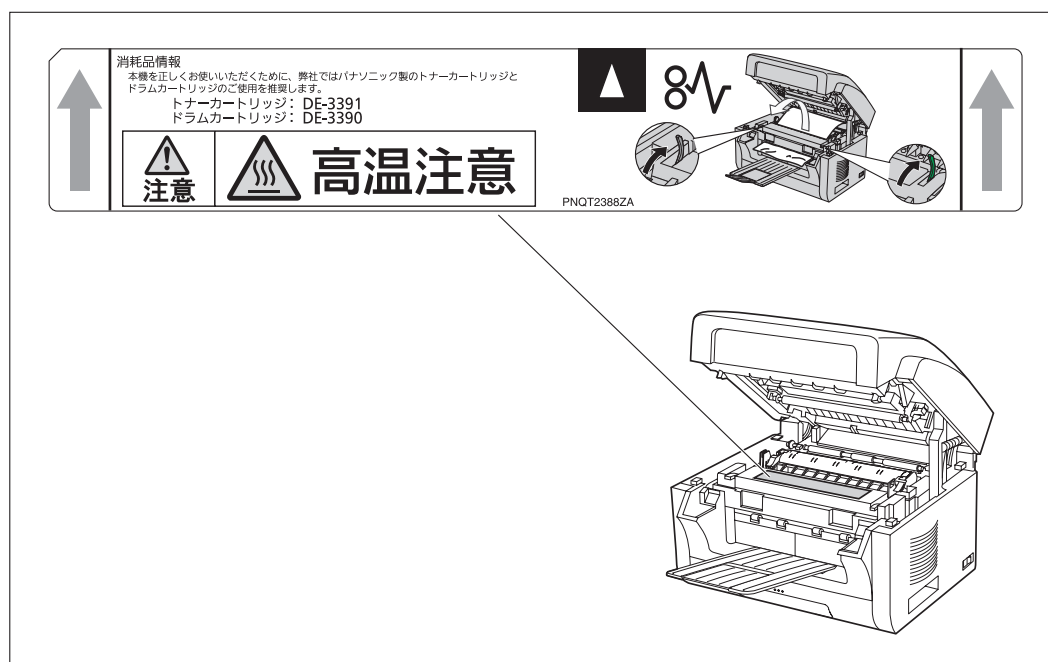
ここに規定した以外の手順による制御や調整は、危険なレーザー放射の被ばくをもたらします。

- 本機はレーザークラス 1 の製品です。取扱説明書に規定した手順に従って正しくお使いください。

レーザーダイオード特性

レーザー出力：最大 15 mW
波長：760 nm - 800 nm
放出持続時間：連続

■ 注意ラベルについて

本機には安全にお使いいただくために次のような注意ラベルが貼ってあります。
内容をよく読み、安全にお使いください。

電源高調波についてのお知らせ
JIS C 61000-3-2 適合品
本装置は、高調波電流規格「JIS C 61000-3-2」に適合しています。

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って、正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

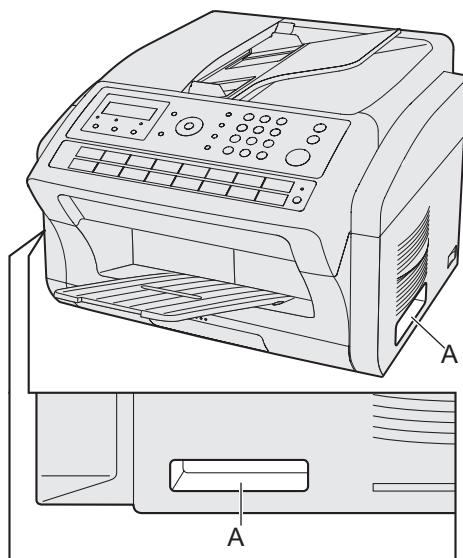
設置上のお願い

■ 次の様な場所への設置は避けてください。

- 高・低温、低・多湿な場所
- 温度変化の激しい場所
- 冷･暖房機の近く（直接風のあたる所）
- 加湿機の近く
- テレビ、ラジオなど電子機器の近く
- 直射日光のあたる場所
- ほこり、アンモニアガスが発生する場所
- シンナー、ガソリンなどの近く
- 換気の悪い場所
- 床、土台が不安定な場所、振動の激しい場所
- 換気扇、クーラー、換気口などの風が直接当たる場所

■ 本機の右側、左側および後面は、壁から10cm 以上離してください。また、本機の右側、左側、および後面から 10cm 以内には物を置かないでください。

■ 本機の移動

- 本機を移動させる場合､両側のくぼみ部分 (A) を持ってください

操作時のお願い

■ 動作中に電源プラグを抜いたり、開閉部等を開けたり、用紙カセットを引き出したりしないでください（紙づまりの原因となります）。

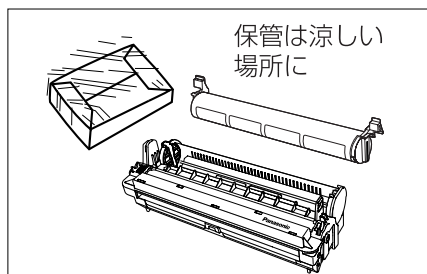
■ 誤通信を未然に防ぎ、確実に相手と通信するためには、次の点に注意してご使用いただくことをお勧めいたします。

- 相手先のファクス番号、ワンタッチダイヤル / 短縮ダイヤルの登録番号をご確認いただくとともに、取扱説明書をよくご確認のうえご使用ください。
- 大切な情報を送る場合には､「誤送信防止の機能」を利用して通信されることをお勧めします。
  ☛ CD-ROM 内に格納されている『取扱説明書 （本体編）』の「3 章 ファクスの操作」の「誤送信防止の機能を使う」

お知らせ

■ 本機を操作する場合、本機近くの使いやすい場所に電源コンセントがある必要があります。

■ 電話機コードを延長しないでください。

用紙/ドラムカートリッジ/トナーカートリッジに関するお願い

■ 用紙／ドラムカートリッジ／トナーカートリッジなどは湿気の少ない涼しい場所に保管してください。

● 用紙は 60 ～ 80g/m^2 の上質紙・再生紙をお使いになれますが、できるだけ当社の推薦紙をご使用ください。
● ドラムカートリッジ/トナーカートリッジは当社指定品をご使用ください。

■ 法律で禁じられていること

次のようなコピーは所有するだけでも法律により罰せられますから充分ご注意ください。
●法律でコピーを禁止されているもの
1. 国内外で流通する紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債証券、地方債証券
2. 未使用の郵便切手、郵便事業株式会社製の郵便はがき
3. 政府発行の印紙、酒税法や物品法で規定されている証紙類
●注意を要するもの
1. 株券、手形、小切手など民間発行の有価証券、定期券、回数券などは、事業会社が業務上必要最低部数をコピーする以外は政府指導によって注意が呼びかけられています。
2. 政府発行のパスポート、公共機関や民間団体発行の免許証、許可書、身分証明書や通行券、食券などの切符類のコピーも避けてください。
●著作権の対象となっている書籍、絵画、版画、地図、図面、写真などの著作物は個人的または家庭内その他、これに準ずる限られた範囲内で使用するためにコピーする以外は禁じられています。

■ ドラムカートリッジ / トナーカートリッジに関するお願い

● ドラムカートリッジ / トナーカートリッジは直接日光に当てない
プリント画像に異常が出ることがあります。
● ドラムカートリッジ / トナーカートリッジを寒い場所から暑い場所へ急に移動させない
ドラムカートリッジ / トナーカートリッジに結露が発生し、故障の原因となります。
● 使用済みのドラムカートリッジ / トナーカートリッジは捨てない
回収にご協力ください。
● ドラムカートリッジ / トナーカートリッジは上を向けて保存する（箱に上向きの表示があります。）
プリント画像に異常が出ることがあります。
●トナーを摂取、吸引、皮膚接触をしないように注意する
トナーが口に入ったときは、多めの水を飲んで胃の中を希釈してください。
トナーを吸い込んだときは、その場所を離れてきれいな空気の場所へ移動してください。
トナーが皮膚に触れた場合は、石けんと冷水で十分に洗い流し、自然乾燥させてください。お湯で洗ったり、ドライヤーで乾かさないでください。
トナーが目に入った場合は、水で十分に洗い流してください。
上記いずれの場合でも異常があるときは、直ちに医師に相談してください。

その他

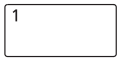
■ 製品リサイクルについて

● 使用済や不要となった製品は、回収して、環境保護、資源有効活用のためリサイクルしています。本機を廃却する場合は、必ず弊社または販売店、サービス実施会社にご連絡ください。
● 使用済や不要となったカートリッジなどの消耗品は、環境保護、資源有効活用のため、適切な処理が必要です。消耗品を廃却する場合は、必ず消耗品の梱包箱に記載されている回収連絡先、弊社または販売店、サービス実施会社にご連絡ください。

各部の名前と働き

本体

■原稿トレイ

■用紙トレイ

No.	説明	No.	説明
①	**自動原稿送り装置（ADF）** 原稿トレイにセットした原稿を自動的に送り込んで読み取るための装置です。	②	**原稿ガイド** 原稿をセットするときに、原稿の幅に合わせて移動し、原稿に沿わせます。 ☛ 原稿のセットのしかた（p.25）
③	**原稿トレイ** ファクス送信やスキャン時、ここに原稿をセットします。 ☛ 原稿のセットのしかた（p.25）	④	**操作パネル** 操作に必要なボタンやランプがまとめられています。 ☛ コントロールパネル（p.17）
⑤	**電源スイッチ** 本機の電源の入 / 切をします。	⑥	**用紙カセット** ファクス受信やプリント時に、プリントに使用する用紙を入れてセットします。約250 枚までセットできます。 ☛ 用紙を補給する（p.37）
⑦	**用紙トレイ** ファクス受信やコンピューターからのプリント時、プリントされた文書がここに排出されます。		

コントロールパネル

No.	アイコン / ボタン	説明	No.	アイコン / ボタン	説明
①	濃度	**濃度** 原稿を読み取る濃度を選択するときに押します。 ふつう、濃く、薄くから選択します。 ☛濃度や文字サイズを設定するには（p.27）	②		**アラームランプ（赤）** エラーが発生したり、故障している場合に点灯 / 点滅します。 • 点灯：トナーがなくなった、用紙がつまっている、エラーが発生しているなどで、本機の動作が停止中のとき 用紙カセットに用紙が入っていないとき • 点滅：本機が警告状態になったとき（動作は停止しません）、トナーの残量が少ないとき
③		**アクティブランプ（緑）** • 点灯：受信データがメモリーに蓄積されているとき • 点滅：本機が動作中のとき	④	文字サイズ	**文字サイズ** 原稿を読み取る細かさ（解像度）を選択するときに押します。

<table>
<tr><th>No.</th><th>アイコン / ボタン</th><th>説明</th><th>No.</th><th>アイコン / ボタン</th><th>説明</th></tr>
<tr><td>⑤</td><td>スキャナー</td><td>スキャナー
原稿を読み取って、コンピューターに送信する場合に押します。
カラーで読み取ることもできます。
☛スキャンする（p.31）</td><td>⑥</td><td>クリアー</td><td>クリアー
入力した電話番号や文字を消去するときに押します。
また、すでに設定されている内容をリセットするときにも押します。</td></tr>
<tr><td>⑦</td><td>ファンクション</td><td colspan="4">ファンクション
各種機能を選択するときに押します。</td></tr>
<tr><td>⑧</td><td>音量 電話帳 セット インターネットFAX</td><td colspan="4">◀ 電話帳
ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルに登録されている宛先を、宛先名で検索するときに押します。また、機能の選択、システム登録の変更、文字入力のカーソル移動のときにも押します。
▲ ▼ 音量
呼び出し音やモニター音の音量を調整します。▲を押すと音が大きく、▼を押すと音が小さくなります。また宛先確認のときにも押します。
☛モニター音量を設定する（p.22）
▶ インターネット FAX
インターネットFAXの送信時、メールアドレス入力に切り替えるときに押します。また、機能の選択、システム登録の変更、文字入力のカーソル移動のときにも押します。
☛インターネット FAX を送る（p.28）</td></tr>
<tr><td>⑨</td><td>モニター</td><td>モニター
手動でダイヤルをするときに使用します。モニター音は音量を調整できます。</td><td>⑩</td><td>フック/Fコード</td><td>フック
構内交換機に接続されている場合で、内線から NTT 回線（外線）へ切り替えるときにお使いください。動作は交換機によるため、詳細は管理者にご相談ください。
F コード
F コード（サブアドレス）を入力するときに押します。</td></tr>
<tr><td>⑪</td><td>再ダイヤル/ポーズ</td><td>再ダイヤル
直前にダイヤルした宛先をもう一度指定するときに押します。
ポーズ
電話番号の入力時、ポーズ（空き）を挿入するときに押します。</td><td>⑫</td><td>短縮/スペース</td><td>短縮
短縮番号で宛先を指定するときに押します。
スペース
文字の入力でスペースを挿入するときに押します。</td></tr>
</table>

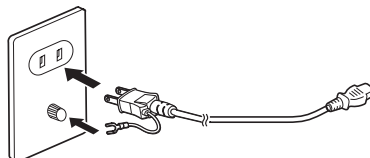
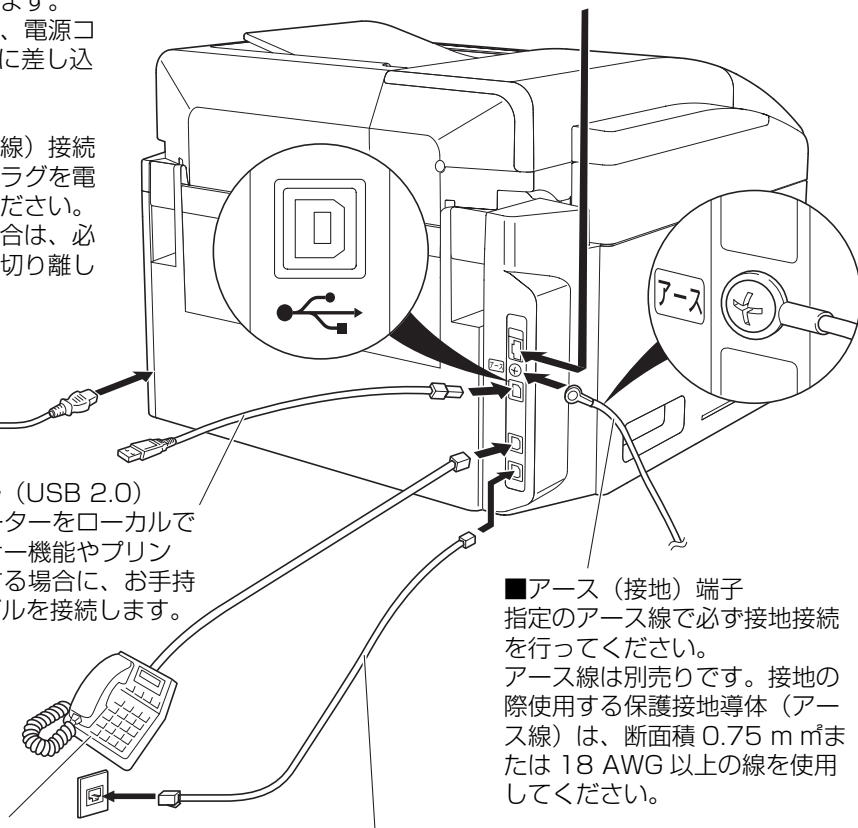
No.	アイコン / ボタン	説明	No.	アイコン / ボタン	説明
⑬		**テンキー** 手動で電話番号をダイヤルするとき、機能の番号を入力するとき、システム登録の設定をするときなどに押します。 また、文字入力のボタンとして使います。 **トーン** 回線種別がダイヤル式の場合に、このボタンを押すと、一時的にプッシュホン信号を送出できます。	⑭	スタート	**スタート** 通信やコピーを開始するときに押します。
⑮	コピー	**コピー** コピーをするときに押します。 ☛ コピーする（p.30）	⑯	ストップ	**ストップ** 送信、コピー、各種登録を中止するときに押します。アラーム音が鳴っているときに押すと、アラーム音が停止します。
⑰	シフト	**シフトボタン / ランプ** ワンタッチボタン(17～32)に切り替えるときに押します。 切り替わるとランプが点灯します。 もう一度ボタンを押すと、ランプが消え、ワンタッチボタン(01～16)に戻ります。	⑱	1	**ワンタッチボタン（01 ～ 32）** ワンタッチダイヤル、グループダイヤル、プログラムダイヤルを利用するときに押します。 シフト を押すと、ワンタッチボタン(17～32)に切り替わります。

回線コード、ケーブル、電源コードを接続する

接続図

■ LAN ケーブル（CAT5）
本機とコンピューターをネットワークで接続し、スキャナー機能やプリンター機能を使用する場合に、お手持ちの LAN ケーブルを接続します。

■電源コード
付属の電源コードを本機の電源コード接続部に差し込みます。
電源コードのもう一方は、電源コンセント（AC100 V）に差し込みます。

■保護接地導体（アース線）接続
接地接続は、必ず電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。
また、接地接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。

■ USB ケーブル（USB 2.0）
本機とコンピューターをローカルで接続し、スキャナー機能やプリンター機能を使用する場合に、お手持ちの USB ケーブルを接続します。

■アース（接地）端子
指定のアース線で必ず接地接続を行ってください。
アース線は別売りです。接地の際使用する保護接地導体（アース線）は、断面積 0.75 m ㎡または 18 AWG 以上の線を使用してください。

■外部電話機
本機には、留守番電話などの市販の電話機を外部電話機として接続できます。外部電話機と本体の TEL 端子をお手持ちの回線コードで接続します。1 本の電話回線を、電話とファクスの両方に使う場合に便利です。

■電話回線
付属の回線コードの一方を本機の LINE 端子に、もう一方を電話コンセントに差し込みます。

お知らせ

1. USB ケーブルのコンピューター側の一方は、プリンタードライバーのインストール時に接続します。インストールの途中で、コンピューターへ USB ケーブル接続を促すメッセージが表示されます。このメッセージが表示されるまで、USB ケーブルを接続しないでください。
2. コンピューターと接続するケーブルは、次のものを使用してください。
   - シールド USB ケーブル（例：USB 2.0 Hi-Speed 対応ケーブル）
   - シールド LAN ケーブル（カテゴリ 5（CAT5）イーサネットケーブル）

必要な設定について

本機に電源ケーブルや電話線などの設置が終了したら、自局登録、システム登録で、必要な項目を設定してください。

設定の種類	設定項目	説明
電話回線の種類	システム登録： 「06 ダイヤル切り替え」	電話回線には、ダイヤル（DP）回線（ダイヤルスピード 10PPS ）、ダイヤル（DP）回線（ダイヤルスピード 20PPS ）、プッシュ（PB）回線があります。 お使いの電話回線の種類を確認したら、回線種別を設定します。 ☛ CD-ROM 内に格納されている『取扱説明書（本体編）』の 「1 章 本機を使用するための準備 」の「回線種別を設定する」
日付と時刻	自局登録： 「時刻セット」	ファクス通信の記録のために、基本的な情報を「自局登録」に登録します。 ☛ CD-ROM 内に格納されている『取扱説明書（本体編）』の 「1 章 本機を使用するための準備 」の「ファクス通信に必要な設定について」
発信元	自局登録： 「発信元」	
文字 ID	自局登録： 「文字 ID」	
数字 ID	自局登録： 「数字 ID」	

インターネット FAX 機能を利用する場合

設定の種類	設定項目	説明
IP アドレス	自局登録の 「IP アドレス」	本機をネットワークに接続するために必要な項目です。基本的な情報を「自局登録」に登録します。 ☛ CD-ROM 内に格納されている『取扱説明書（本体編）』の 「1 章 本機を使用するための準備 」の「インターネット FAX 通信に必要な設定について」
サブネットマスク	自局登録の 「サブネットマスク」	
デフォルトゲートウェイ	自局登録の 「デフォルトゲートウェイ」	
メールサーバー名、またはメールサーバー IP アドレス ポート番号	自局登録の 「メールサーバー名」または「メールサーバー IP アドレス」	
メールアドレス	自局登録の 「メールアドレス」	

お使いの環境によっては、上記以外の項目の設定が必要な場合があります。

下記を参照して、適切な項目を設定してください。なお、設定内容の詳細については、お使いのネットワークの管理者にお問い合わせください。

☛ CD-ROM内に格納されている『取扱説明書（本体編）』の
「1 章 本機を使用するための準備 」の「自局登録（インターネットパラメーター）の項目一覧」

音量を設定する

モニター音量を設定する

モニター音量は、8 段階で設定できます。

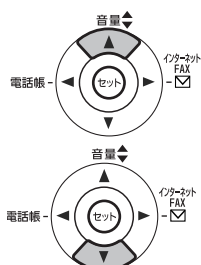
1 モニター ○ **を押す**

スピーカーから、モニター音が聞こえます。

```
＊ダイヤル シテクダサイ＊
▮
```

2

大きくするとき

```
モニター オンリョウ
ショウ[▮▮▮▮▮▮▮▮]ダイ
```

小さくするとき

```
モニター オンリョウ
ショウ[        ]ダイ
```

3 モニター

を押す

- モニターを利用するには、システム登録の「137 直ダ再入力」が「ナシ」に設定されている必要があります（お買い上げ時は、「アリ」に設定されています）。

呼び出し音量を設定する

1 待機状態を確認する

```
12-15 15:00
             00%
```

2 音量を調整する

ボタンを押すと、テスト用の呼び出し音が鳴ります。
音を確認しながら、お好みの大きさに調整します。

大きくするとき

```
ヨビダシ オンリョウ
  (((( ☎ ))))
```

小さくするとき

```
ヨビダシ オンリョウ
      ☎
```

3 ストップ

を押す

原稿について

セットできる原稿

原稿のサイズ

原稿の厚さ

最大サイズ

216 mm
（［注］を参照）

600 mm

方向

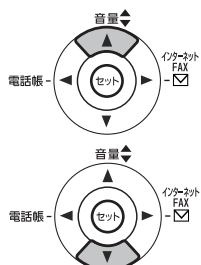
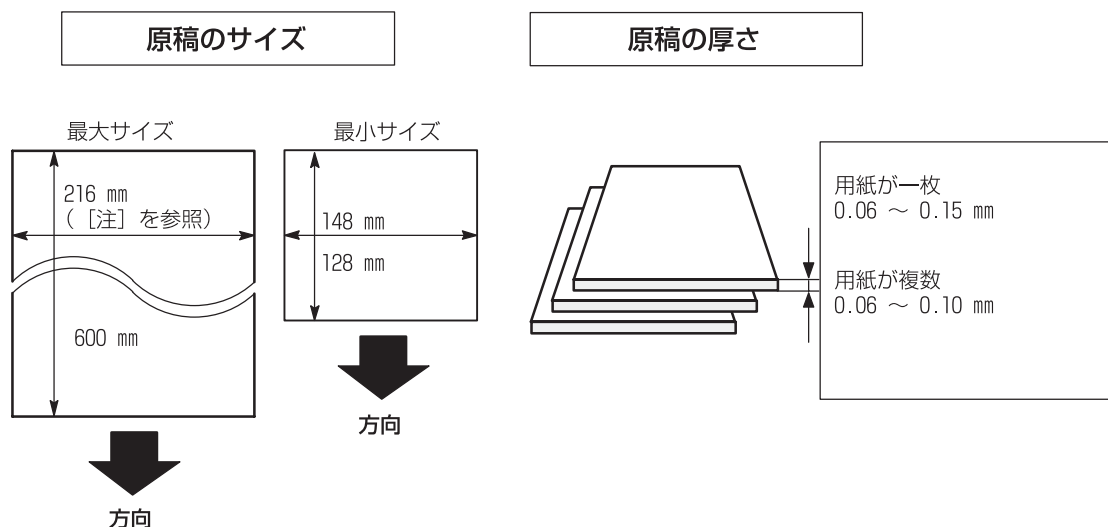
最小サイズ

148 mm

128 mm

方向

用紙が一枚
0.06 ～ 0.15 mm

用紙が複数
0.06 ～ 0.10 mm

注 : 本機のセット可能な最大原稿幅は、216mm です。
また、最小サイズは 148mm（幅） x 128mm（長さ）です。

お知らせ

1. 複数枚の原稿をセットする際には、以下のような範囲に限られます。

原稿のサイズ	原稿の厚さ	原稿枚数
A4（210 mm × 297 mm）	0.06 mm ～ 0.10 mm	*30 枚以下
Letter（216 mm × 279 mm）		

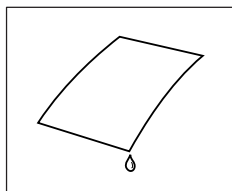
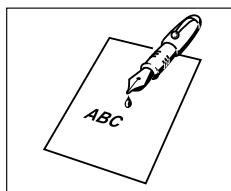
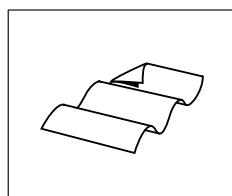
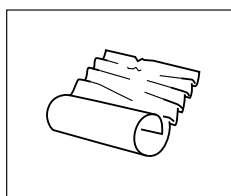
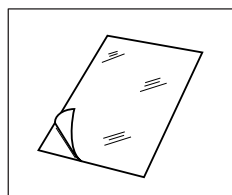
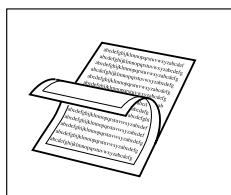
- 同一サイズ、同質の原稿
- 原稿の紙質は上質紙相当（表、裏ともコーティングのないもの）

* 原稿の大きさと厚みが上記の仕様を満たしていても、用紙の種類によっては、30 枚セットできない場合がありますので、ご注意ください。

2. 364 mm を超える原稿をセットする場合は、手で支えながら送信してください。

セットできない原稿

次の原稿はセットしないでください。

- このような原稿を使用すると、ファクス送信やコピー時に、用紙づまりが発生したり、画像が正しく再現されないなどの原因となることがあります。
- このような原稿は、あらかじめ別の用紙にコピーしておいたものを使用してください。

湿気を帯びているもの

インクが乾いていない、またはインクの塊が残っているもの

薄すぎるもの
(0.05mm 未満の原稿)

しわになったり、曲がったりまたは折れたりしたもの

表または裏がコーティングされているもの

化学処理されたもの
(例：感圧紙、カーボンコート用紙など)
布製
金属製

原稿のセットのしかた

原稿は正しくセットしてください

誤った方法でセットすると、原稿づまりなどのトラブルの原因になります。
☛ セットできる原稿（p.23）

1 原稿を確認する

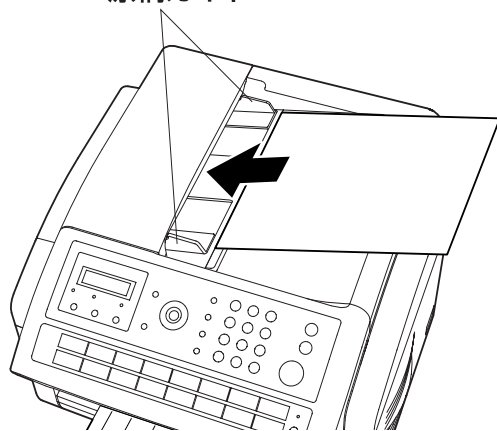
- 原稿がホッチキスやクリップ留めされていないこと
- 破れていない、油がついていない、コーティングされていないこと

2 原稿をセットする

読み取る面を上向きにして、自動原稿送り装置（ADF）の奥に突き当たるまで差し込む

- 一度にセットできる原稿：30 枚まで

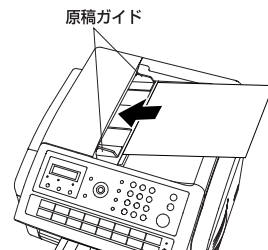
3 原稿ガイドを原稿の幅に合わせる

ｱﾃｻｷ ｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
ｽﾀｰﾄｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ

原稿ガイド

ファクスを送る

詳しい操作については
☛CD-ROM 内に格納されている『取扱説明書 （本体編）』の「3 章 ファクスの操作」

1 原稿をセットする

送る面を上向きにして、原稿ガイドを原稿の幅に合わせる
☛ 原稿のセットのしかた（p.25）

2 必要に応じて、濃度や文字サイズを選ぶ

☛ 濃度や文字サイズを設定するには（p.27）

```
ｱﾃｻｷ ｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
ｽﾀｰﾄｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ
```

3 ダイヤルする（36 桁まで）

テンキーで相手の電話番号を入力する
例：「12345678」を入力

```
TEL. NO.
12345678
```

- 誤って入力した場合は クリアー を押します。
- ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、電話帳で指定することもできます。手順6へ進みます。

4 スタート

を押す

```
TEL.NO. ｻｲﾆｭｳﾘｮｸ
▮
```

- ダイヤル再入力の画面が表示されます。

5 もう一度ダイヤルする

テンキーで相手の電話番号を再入力する

```
TEL.NO. ｻｲﾆｭｳﾘｮｸ
12345678▮
```

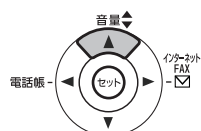
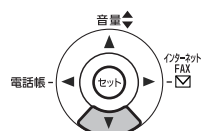
6 スタート

を押す

```
∨∧ﾃﾞ ｱﾃｻｷｦｶｸﾆﾝｼﾃ
ｽﾀｰﾄｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ
```

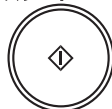
- 宛先確認の画面が表示されます。

7 入力済みの宛先をすべて確認する

または

を押す

```
TEL. NO.
12345678
```

↓

```
ｱﾃｻｷﾏﾁｶﾞｲｱﾘﾏｾﾝｶ?
ﾊｲ:ｽﾀｰﾄ ｲｲｴ:ｸﾘｱｰ
```

- 宛先確認をした場合だけ送信できます。

8

を押す

- 原稿の読み取りが開始されます。読み取りが終了した原稿から送信が開始されます。

```
*ﾁｸｾｷ ﾁｭｳ*NO.123
ﾏｲｽｳ=001      01%
```

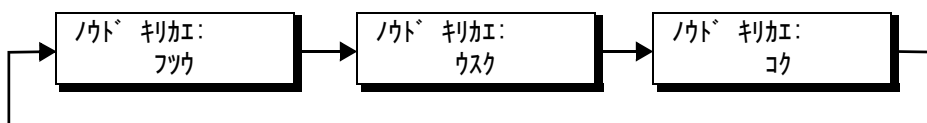
```
*ﾀﾞｲﾔﾙ ｼﾃｲﾏｽ*
12345678
```

濃度や文字サイズを設定するには

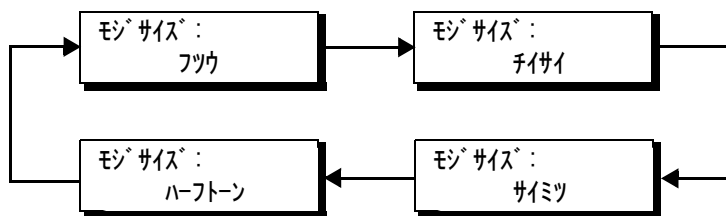
送信する原稿に合わせて、濃度と文字サイズを設定できます。これらの設定は、通信が終了すると自動的に元の設定に戻ります。

● 濃度を設定する

原稿を読み込む濃度を設定します。
文字が薄い原稿を送るときは「コク」に変更します。文字がこい原稿を送るときは「ウスク」に変更します。

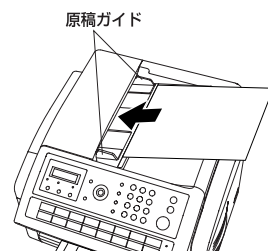
を押すたびに、濃度の設定が切り替わります。

● 文字サイズを設定する

原稿を読み込む細かさ（解像度）を設定します。
細かい文字の原稿を送るときは「チイサイ」または「サイミツ」を、写真やカラー原稿を送るときは「ハーフトーン」に変更します。

を押すたびに、文字サイズの設定が切り替わります。

インターネット FAX を送る

詳しい操作については
☛CD-ROM 内に格納されている『取扱説明書（本体編)』の「4 章 インターネット FAX の操作」

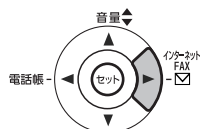
1 原稿をセットする

送る面を上向きにして、原稿ガイドを原稿の幅に合わせる
☛ 原稿のセットのしかた（p.25）

2 必要に応じて、濃度や文字サイズを選ぶ

☛ 濃度や文字サイズを設定するには（p.27）

```
ｱﾃｻｷ ｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
ｽﾀｰﾄｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ
```

3 メールアドレス入力に切り替える

を押す

```
▮
ｱﾄﾞﾚｽｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
```

4 メールアドレスを入力する（60 文字まで）

テンキーを利用して、相手のメールアドレスを入力する

例：「ab@panasonic.com」を入力

```
ab@panasonic.com
```

☛ 文字入力のしかた
CD-ROM 内に格納されている『取扱説明書（本体編)』の「8 章 登録と設定」の「文字入力のしかた」

- ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、電話帳で指定することもできます。手順 7 へ進みます。

5

スタート

を押す

```
▮
ｱﾄﾞﾚｽｦ ｻｲﾆｭｳﾘｮｸ
```

- メールアドレス再入力の画面が表示されます。

6 もう一度メールアドレスを入力する

メールアドレスを再入力する

```
ab@panasonic.com
```

7

スタート

を押す

- 宛先確認の画面が表示されます。

V∧ﾃﾞ ｱﾃｻｷｦｶｸﾆﾝｼﾃ
ｽﾀｰﾄｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ

8 入力済みの宛先をすべて確認する

を押す

- 宛先確認をした場合だけ送信できます。

ab@panasonic.com

9

スタート

を押す

- 原稿の読み取りが開始されます。読み取りが終了した原稿から送信が開始されます。

*ﾁｸｾｷ ﾁｭｳ*NO.123
ﾏｲｽｳ=001 01%

* ｿｳｼﾝ ｼﾃｲﾏｽ *
ab@panasonic.com

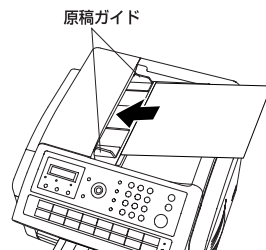
3

コピーする

コピー機能を利用して、原稿をコピーできます。
コピー部数は 1 ～ 99 まで設定できます。

1 原稿をセットする

送る面を上向きにして、原稿ガイドを原稿の幅に合わせる

☛ 原稿のセットのしかた（p.25）

2 必要に応じて、濃度や文字サイズを選ぶ

☛ 濃度や文字サイズを設定するには（p.27）

- 文字サイズの「フツウ」は設定できません。

```
ｱﾃｻｷ ｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
ｽﾀｰﾄｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ
```

3 コピー を押す

```
ｺﾋﾟｰ
ｺﾋﾟｰ ﾌﾞｽｳ =1
```

4 コピー部数を入力する（最大 99 部）

例：「10」を入力

```
ｺﾋﾟｰ
ｺﾋﾟｰ ﾌﾞｽｳ =10
```

5

を押す

- 原稿がメモリーに蓄積され、コピーが開始されます。

```
* ﾁｸｾｷ ﾁｭｳ*NO. 123
ﾏｲｽｳ =002        01%
```

↓

```
* ｺﾋﾟｰ *    01/10
```

スキャンする

本機とコンピューターがネットワーク経由で接続されている場合は、次の手順でスキャンします。
詳しい操作については
☛CD-ROM 内に格納されている『取扱説明書 （本体編)』の「6 章 スキャナーの操作」

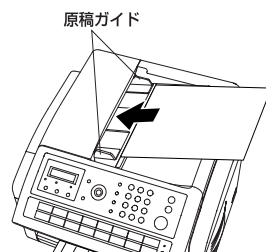
1 スキャンを設定する

スキャナー

を押す

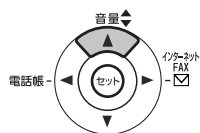
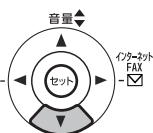
12-15 15:00
ﾖﾐｺﾐ ﾃﾞｷﾏｽ

2 原稿をセットする

送る面を上向きにして、原稿ガイドを原稿の幅に合わせる
☛ 原稿のセットのしかた（p.25）

3 原稿サイズを設定する

または

を押す

ｱﾃｻｷｦ ｾｯﾄｼﾃｸﾀﾞｻｲ
A4∨∧

• 初期値は「A4」に設定されています。

4 必要に応じて、濃度や解像度を選ぶ

☛ スキャン時の濃度や解像度の設定
CD-ROM 内に格納されている『取扱説明書（本体編)』の「6 章　スキャナーの操作」

ｱﾃｻｷｦ ｾｯﾄｼﾃｸﾀﾞｻｲ
A4∨∧

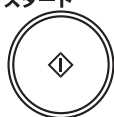
5 電話帳で宛先を指定する

☛ 電話帳での宛先指定のしかた
CD-ROM 内に格納されている『取扱説明書 （本体編)』の「3章 ファクスの操作」

(01)ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ
11.22.33.44

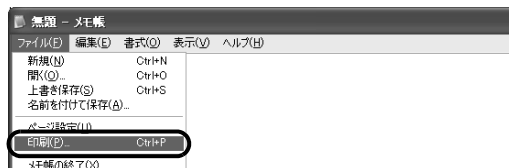
6

スタート

を押す

プリントする

プリンタードライバーが正しくインストールされ、プリンターが「通常使うプリンタ」として設定されている場合は、簡単な操作で Windows® アプリケーションから印刷できます。
ここでは、メモ帳からプリントする場合を例に、操作を説明します。

- 画面に表示されるボタン名は、アプリケーションにより異なります。

1 ［ファイル］メニューから［印刷］を選択する

2 ［詳細設定］ボタンをクリックする

3 各タブの項目を設定し、［OK］ボタンをクリックする

- プリンタードライバーの設定項目については、プリンタードライバーのオンラインヘルプを参照してください。

4 ［印刷］ボタンをクリックする

- 作成した文書のプリントが開始されます。

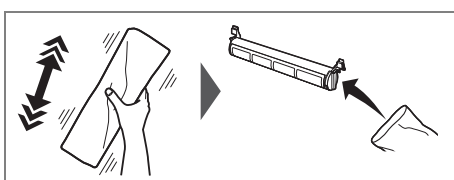
トナーカートリッジを交換する

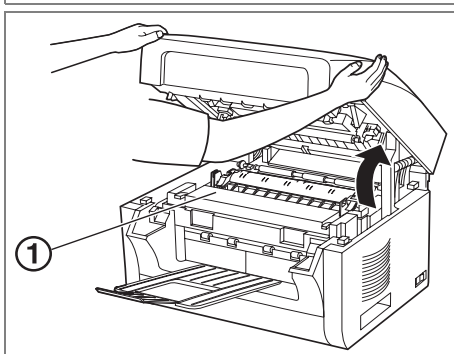
トナーがなくなると、ディスプレイにエラーコード 0041 が表示されます。
トナーカートリッジを交換する場合は、次の手順で操作します。

- トナーの残量が一定以下になると、「マモナク トナーガ ナクナリマス」のメッセージが表示されます。必要に応じて、新しいトナーを準備しておいてください。

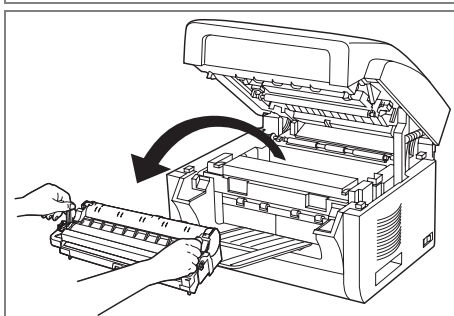
お願い

「トナーギレレジニ　ドラムモ　コウカンシテクダサイ」のメッセージが表示された場合は、トナーカートリッジおよびドラムカートリッジを交換してください。

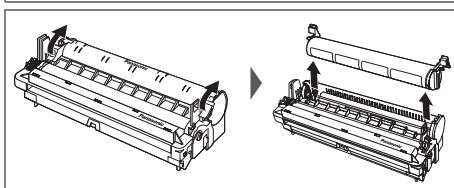
1

トナーカートリッジを袋に入れた状態で、内部のトナーが均一になるように縦に5回以上振ります。

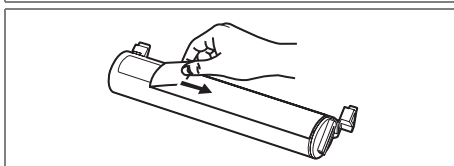
2

受信開閉部を開きます。

- 定着ユニット（①）は高温になります。定着ユニットに手を触れないでください。

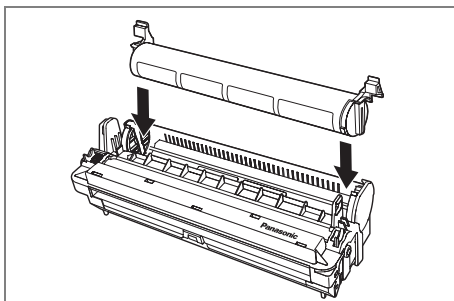
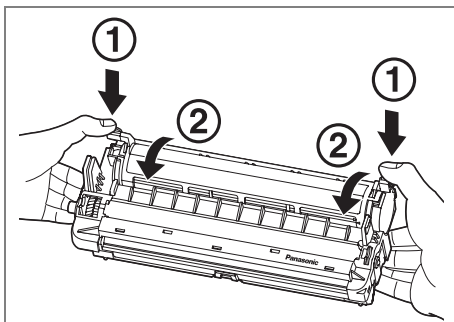
3

ドラムカートリッジを取り出します。

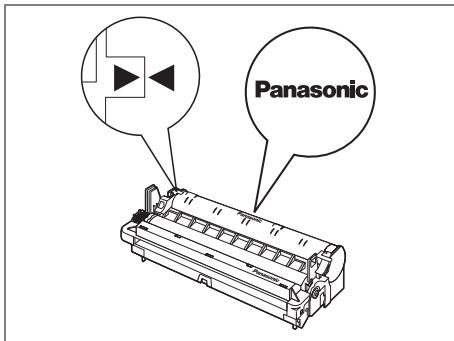
- 使用済みのトナーカートリッジを数回たたき、残ったトナーをドラムカートリッジの中に落としてください。

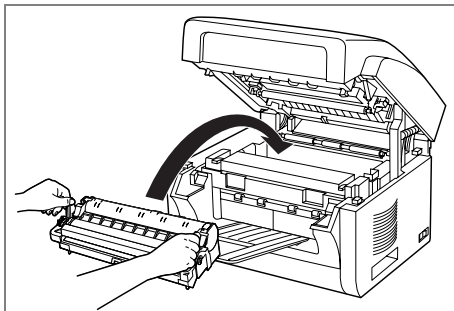
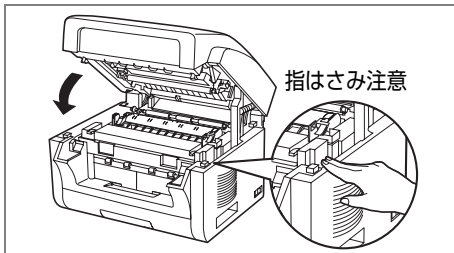
4

ドラムカートリッジから、古いトナーカートリッジを取り外します。

5

新しいトナーカートリッジの保護用のシールを引き抜きます。

- 保護用のシールをはがすときは、ゆっくりとシールを引っぱり、矢印方向にはがします。

6

新しいトナーカートリッジをドラムカートリッジにセットします。

トナーカートリッジ（①）を押し込みます。
トナーカートリッジの両端に付いている緑色のレバーを押さえながら手前に回します（②）。

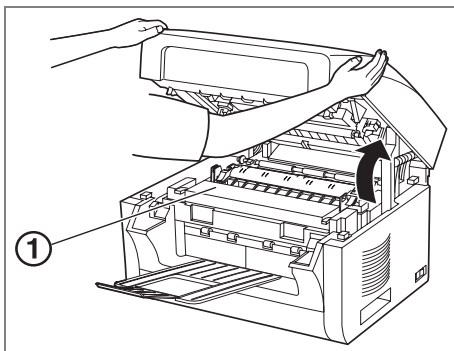
7

▲マークを合わせます。

8

ドラムカートリッジを本体に入れます。

受信開閉部を確実に閉じます。

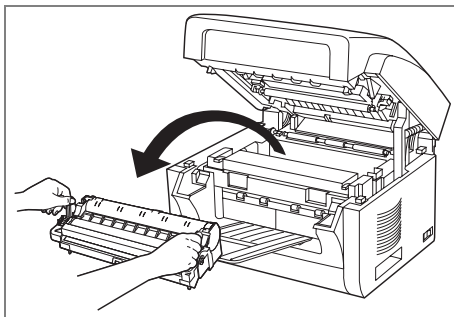
- 受信開閉部を閉じるとき指のはさみこみに注意してください。けがの原因になることがあります。

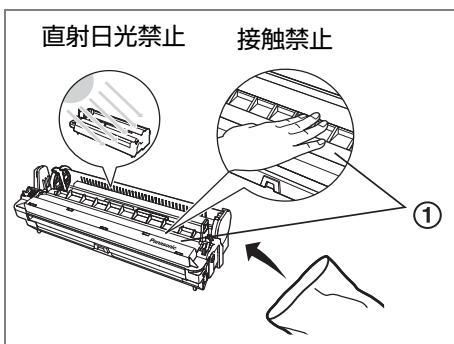
ドラムカートリッジを交換する

ドラムカートリッジの交換時期が近づくと、「トナーギレレジニ　ドラムモ　コウカンシテクダサイ」のメッセージが表示されます。必要に応じて、新しいドラムカートリッジを準備しておいてください。また交換時期になると、エラーコード **0094** が表示されます。
ドラムカートリッジを交換する場合は、次の手順で操作します。

1

受信開閉部を開きます。

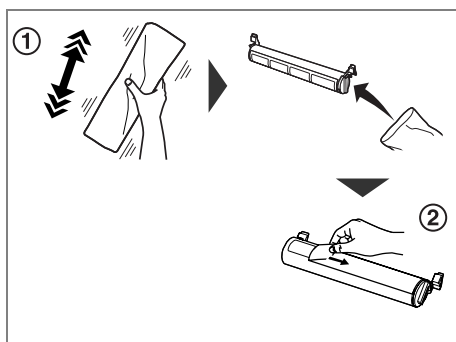
- 定着ユニット（①）は高温になります。
  定着ユニットに手を触れないでください。

2

ドラムカートリッジを取り出します。

3

新しいドラムカートリッジを袋から取り出します。

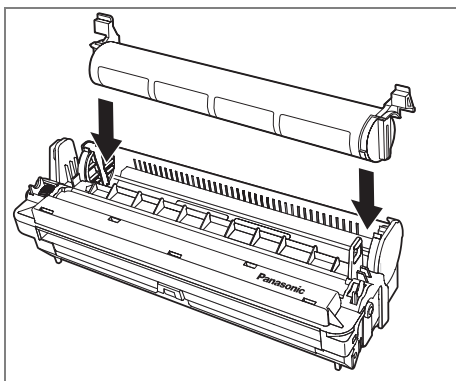
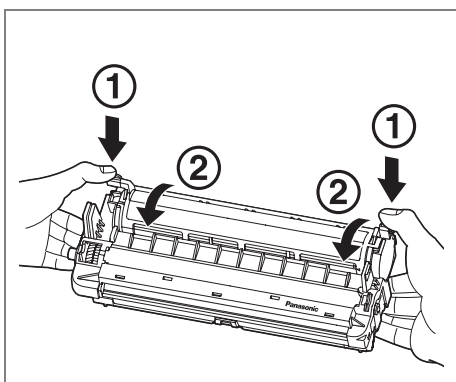
- ドラムカートリッジを光に 5 分以上当てないでください。
- ドラムカートリッジ内側のドラム表面（①）に触れたり、傷つけたりしないでください。

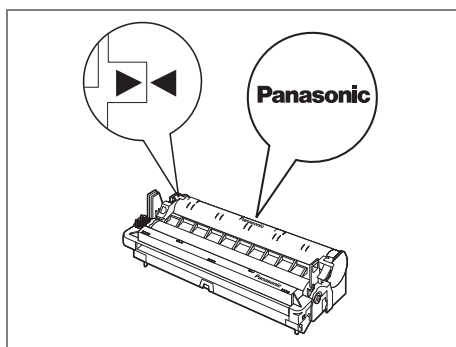
7

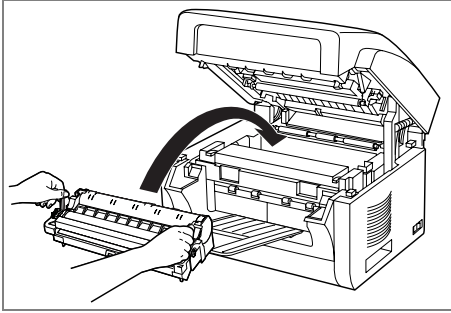
4

トナーカートリッジを袋に入れた状態で、内部のトナーが均一になるように縦に５回以上振ります（①)。トナーカートリッジを袋から取り出し、保護用のシールをはがします（②)。

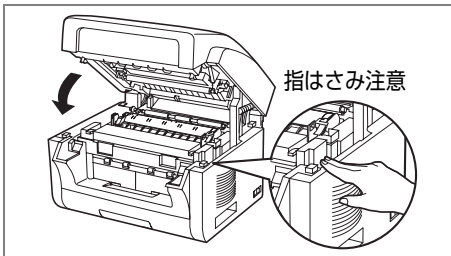
- 保護用のシールをはがすときは、ゆっくりとシールを引っぱり、矢印方向にはがします。

＊ **ドラムカートリッジを交換する場合は、同時に新しいトナーカートリッジが必要になります。**

5

新しいドラムカートリッジに、新しいトナーカートリッジをセットします。

トナーカートリッジ（①）を押し込みます。
トナーカートリッジの両端に付いている緑色のレバーを押さえながら手前に回します（②)。

6

▲マークを合わせます。

7

ドラムカートリッジを本体に入れます。

8

受信開閉部を確実に閉じます。

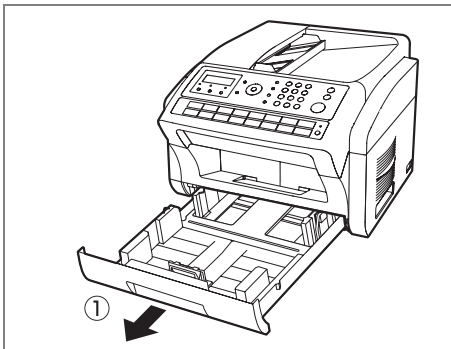
- 受信開閉部を閉じるとき指のはさみこみに注意してください。けがの原因になることがあります。

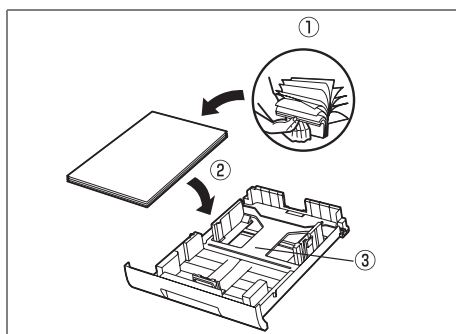
お願い

1. ドラムカートリッジのドラム表面には手を触れないでください。ドラムの表面に手の油や汚れが付着すると、きれいな印字ができなくなります。
2. 受信開閉部を閉めるときは、確実にしまっていることを確認してください。完全に閉まっていないと、通信やコピーができません。

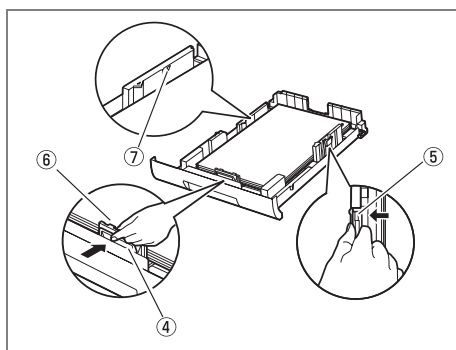
用紙を補給する

用紙を補給する場合は、次の手順で操作します。

1

用紙カセット（①）を止まるまで引き出します。前部を少し持ち上げ、本体から引き出します。

2

用紙をセットする前に、紙づまり防止のため、用紙をよくさばきます（①）。

印刷する面を上にして（②）用紙をセットします。

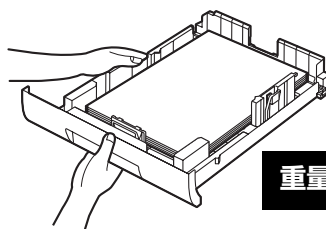
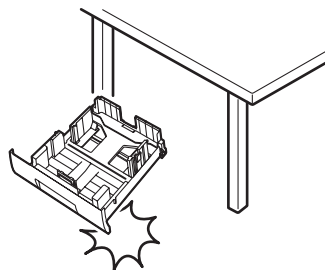
- 必要に応じて、用紙カセットのプレートを押し下げてロックしてください（③）。

用紙ガイドを用紙に合わせます。

- 用紙ガイドの前部のつまみ（④）をつまんでスライドさせ、用紙サイズマークに合わせます。
- 用紙ガイド右側にあるつまみ（⑤）をつまんで、用紙の側面に軽く触れるようにします。このとき、用紙がたるまないようにしてください。
- 用紙が、用紙ガイドのあいだにぴったり収まっていることを確認してください。正しくセットされていない場合は、紙づまりの原因になります。

お願い：用紙がツメ（⑥）の下にセットされていることを確認してください。また、用紙厚が用紙上限マーク（⑦）を越えないように注意してください。セットできる枚数は約250 枚です。

用紙カセットを本体に挿入し、奥まで押し込みます。

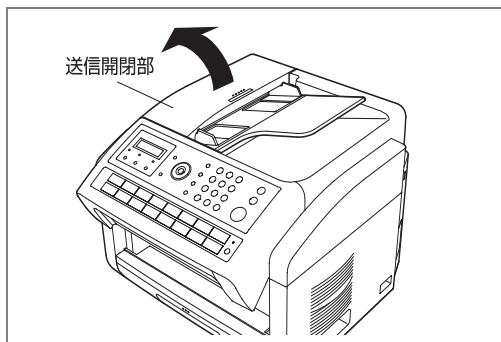
用紙カセットの取り扱いに関する注意

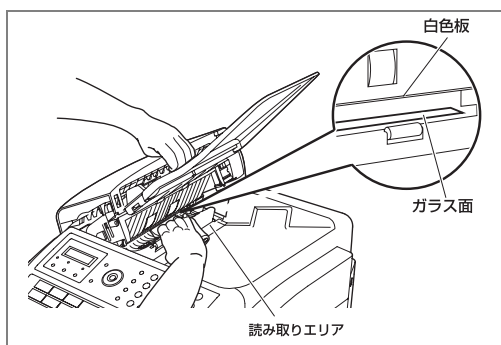
- 用紙カセットを落とさないでください。
- 取り外しまたは取り付けのときには、用紙カセットを両手で持ってください。
  用紙を最大枚数までセットした場合、用紙カセットの重量は約 2 kg になります。

お知らせ

1. 用紙カセットには、適応サイズ以外の用紙はセットしないでください。
2. しわ、折れのある紙、湿っている紙、一度記録した紙の裏面などは使用しないでください。紙づまりの原因となります。
3. 用紙を追加するときは、残っている用紙を上にしてセットし直してください。いつまでも古い用紙が残っていると、紙づまりの原因となることがあります。
4. プリント中には、用紙カセットを引き出さないでください。紙づまりの原因となります。
5. 新しい用紙が残ったときは、包装紙に包み、湿気が少ない直射日光の当たらないところに保管してください。
6. 用紙は当社推奨品をご使用ください。推奨品以外の用紙を使用されますと、記録品質への悪影響や、故障の原因となることがあります。

読み取り部のお手入れ

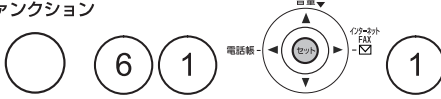
受信側から白紙の原稿、黒い筋の入った原稿、または白い筋の入った原稿を受信したと報告されたときは、本機でコピーをとって確認してください。コピーが同じような症状の場合は、読み取り部が汚れている可能性があるためクリーニングしてください。

1

送信開閉部を開きます。

2

やわらかい乾いた布で、読み取り部（下側にあるガラス面）、および上側にある白色板の表面をやさしく拭きます。

- 読み取り部は傷つきやすいので、必ず清潔な布またはガーゼを使用してください。
- 清掃にはペーパータオルやティッシュペーパーなどの紙用品を使用しないでください。

7

8

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったときは、次の項目をチェックしてください。

- 下の表に参照先がない項目については、CD-ROM内に格納されている『取扱説明書（本体編）』の「10章 必要なとき」の「故障かな？と思ったら」を参照してください。

モード	症状	原因と処置	参照先
送信中	原稿が送り込まれない 複数枚同時に送り込まれる	1. 原稿にホッチキスの針やクリップがついていないこと、また汚れや破れのないことを確認してください。 2.「セットできない原稿」に一覧表示されている原稿でないことを確認してください。リストに記載してある種類の原稿である場合は、そのコピーをとって原稿の代わりに送信してください。 3. 原稿が正しくセットされていることを確認してください。	☛ セットできない原稿（p.24） ☛ 原稿のセットのしかた（p.25）
	原稿づまり	原稿がつまった場合は、エラーコード 0030、0031 がディスプレイに表示されます。	☛ 原稿がつまった（p.44）
	送信した原稿に受信側で縦線が入る	本機でコピーをし、画質を確認してください。コピーに問題がない場合、本機は正常です。異常が発生している受信側に報告をしてください。 コピーに問題がある場合は、原稿読み取り部を清掃してください。	☛ 読み取り部のお手入れ（p.39）
	送信した原稿が、受信側で白紙として出てくる	1. 原稿が表向きにセットしてあることを確認してください。 2. 本機でコピーをし、画質を確認してください。コピーに問題がない場合、本機は正常です。異常が発生している受信側に報告をしてください。 コピーに問題がある場合は、原稿読み取り部を清掃してください。	☛ 原稿のセットのしかた（p.25） ☛ 読み取り部のお手入れ（p.39）
受信中	用紙切れ	用紙がなくなった場合は、エラーコード 0001 がディスプレイに表示されます。用紙を補給してください。	☛ 用紙を補給する（p.37）
	用紙づまり	用紙がつまった場合は、エラーコード 0007 がディスプレイに表示されます。つまった用紙を取り除いてください。	☛ 用紙がつまった（p.43）
	用紙が送り込まれない	用紙が送り込まれない場合は、エラーコード 0001 がディスプレイに表示されます。 用紙カセットに用紙がセットされていることを確認してください。 用紙のセット方法が正しいことを確認してください。	☛ 用紙を補給する（p.37）
	受信できない	迷惑ファクス防止機能が設定されているか確認してください。	――

モード	症状	原因と処置	参照先
受信中	プリント終了時に用紙が排出されない	用紙が本機内部でつまっていないか確認してください。	☛ 用紙がつまった（p.43）
	原稿の自動縮小機能がはたらかない	縮小受信の設定値を確認してください。	――――
	トナー切れ	トナーがなくなった場合は、エラーコード0041 がディスプレイに表示されます。 トナーカートリッジを交換してください。	☛ トナーカートリッジを交換する（p.33）
受信中 コピー中	受信した原稿に縦線が入る	レポートをプリントして、画質をチェックをし、本機に異常がないか確認してください。 レポートの画質に問題がない場合、本機は正常です。異常が発生している送信側に報告してください。 コピーに問題がある場合は、ドラムカートリッジを交換してください。 （例：通信管理レポートのプリント） ファンクション 6 1 1	☛ ドラムカートリッジを交換する（p.35）
	プリントが不鮮明	1. 推奨の用紙を使用しているか確認してください。 2. 用紙を裏返しにしてみてください。	――――
	プリント領域内に、点状や線状に抜けている箇所、濃度が不均一な箇所がある	1. 推奨されている用紙を使用しているかを確認してください。 2. ドラムカートリッジを交換してください。	☛ ドラムカートリッジを交換する（p.35）
	プリントが薄い	トナーがなくなりかけている可能性があります。トナーカートリッジを交換してください。	☛ トナーカートリッジを交換する（p.33）
通信中	発信音が聞こえない	1. 電話回線の接続を確認してください。 2. 電話回線を確認してください。	――――
	自動受信できない	1. 電話回線の接続を確認してください。 2. 受信モードの設定値を確認してください。 3. メモリー容量が一杯になっていないか確認してください。予約ファイルの消去や受信データをプリントしてメモリー容量を空けてください。	――――
	送信できない 受信できない	ディスプレイにエラーコードが表示されます。 エラーコード一覧を参照して、原因を特定してください。	☛ エラーコードが表示されたら（p.42）

エラーコードが表示されたら

本機に異常が発生したときは、ディスプレイにエラーコードが表示されます。
次の表に従って処置をしてください。

- 下の表では、主なエラーコードのみを説明しています。
  下の表に記載されていないエラーコードについては、CD-ROM 内に格納されている『取扱説明書 （本体編）』の「10 章 必要なとき」の「エラーコードが表示されたら」を参照してください。
- 説明に従って処置を実施しても、エラーコードが表示されたままになったり、エラーコード一覧に記載されていないエラーコードが表示された場合は、お買い上げの販売店、またはサービス実施会社にお問い合わせください。

エラーコード	参照先
0001	☛ 用紙を補給する（p.37）
0001 0007	☛ 用紙がつまった（p.43）
0030 0031	☛ 原稿がつまった（p.44）
0041	☛ トナーカートリッジを交換する（p.33）
0094	☛ ドラムカートリッジを交換する（p.35）

ドラムカートリッジの寿命について

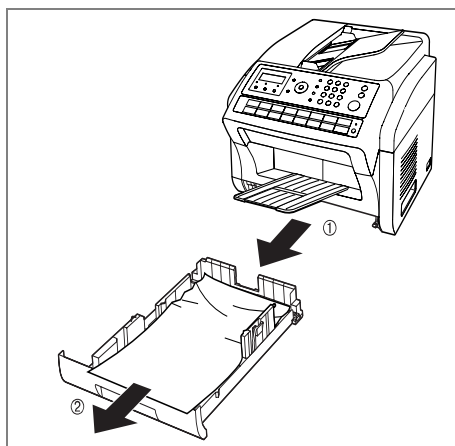
ドラムカートリッジの交換時期が近づくと、「トナーギレジニ　ドラムモ　コウカンヲ　オススメシマス」のメッセージが表示されます。必要に応じて、新しいドラムカートリッジを準備しておいてください。
現在お使いのドラムカートリッジの回転数が高品質を保てる回転数を越えました。ご使用の環境やお使いの用紙、ご使用の状況により、写真原稿など中間調の画像をプリントされた場合に、高品質なプリント画像が得られない場合があります。プリント画像を確認していただき、ご満足いただける画質の場合はドラムカートリッジの交換を直ちに行う必要はございませんが、時々プリント画像をご確認いただき画質に応じて交換いただくか、トナーカートリッジ交換の際、同時にドラムカートリッジを交換することをお勧めします。

また交換時期になると、エラーコード 0094 が表示されます。
ドラムカートリッジの寿命が来ました。トナーカートリッジ交換の際に、ドラムカートリッジを交換してください。ご使用の環境やお使いの用紙、ご使用の状況により、程度は異なりますが画質に影響があります。プリント画像の状態をご確認していただき、必要に応じて早めの交換をお願いいたします。

※ ドラムカートリッジを交換せずにご使用を続けた場合、急に画像が劣化したり、機器が故障する原因になることがあります。

用紙がつまった

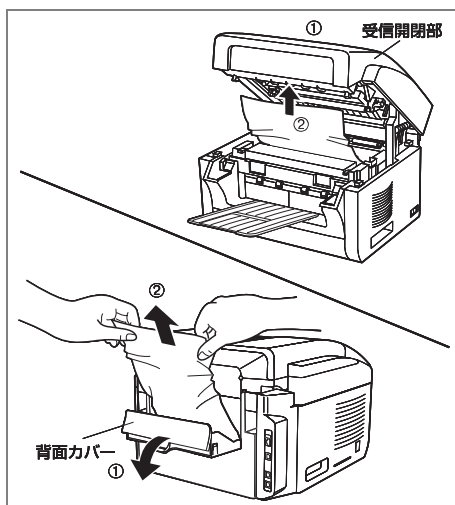
用紙がつまったときは、ディスプレイにエラーコード（0001、0007）が表示されます。
用紙づまりを取り除く場合は、次の手順で操作してください。

エラーコード 0001 が表示されている場合

(1) 用紙カセットを止まるまで引き出します。前部を少し持ち上げ、本体から引き出します。

(2) つまった用紙、しわのついた用紙を取り除きます。

(3) 用紙カセットに用紙をセットし直します。

(4) 受信開閉部をいったん開き、閉じます。

エラーコード 0007 が表示されている場合

・つまった用紙が本体内部にある場合（上の図を参照してください）

(1) 受信開閉部を開きます。
(2) つまった用紙を取り除きます。
(3) 受信開閉部を閉じます。

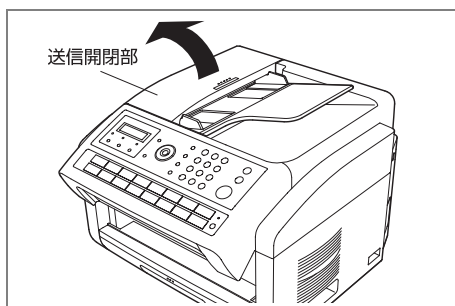
・つまった用紙が本体背面にある場合（下の図を参照してください）

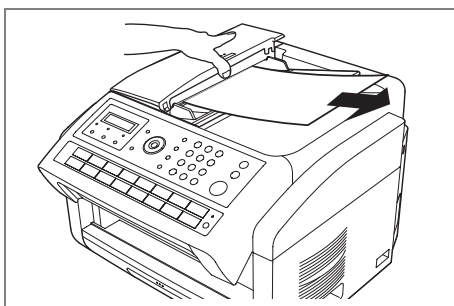
(1) 背面カバーを開きます。
(2) 破れないよう注意しながら、つまった用紙をゆっくりとまっすぐに引き出します。
(3) 背面カバーを閉じます。

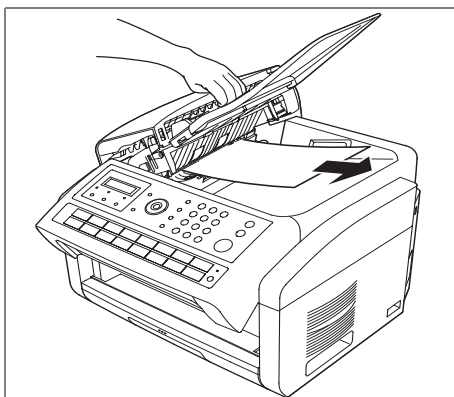
＊ 用紙づまりの処置をしても、なおエラーコードが表示される場合は、受信開閉部をいったん開き、閉じてみてください。

原稿がつまった

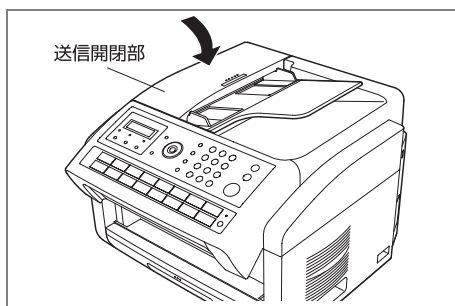
原稿がつまったときは、ディスプレイにエラーコード（0030、0031）が表示されます。
原稿づまりを取り除く場合は、次の手順で操作してください。

1

送信開閉部を開きます。

2

エラーコード 0030 が表示されている場合

つまっている原稿を引き出し、取り除きます。

エラーコード 0031 が表示されている場合

送信開閉部を持ち上げ、つまっている原稿を取り除きます。

3

送信開閉部を確実に閉じます。

保証とアフターサービス （よくお読みください）

使いかた・お手入れ・修理などは
まず、お買い求め先へご相談ください。

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名	
電　話	（　　　）　　－
お買い上げ日	年　月　日

修理を依頼されるときは

『取扱説明書（本体編）』の「こんなときには」でご確認のあと、直らないときはまず電源プラグを抜いて、お買い上げ日と右の内容をご連絡ください。

●製品名	ファクシミリ
●品　番	UF-5500
●故障の状況	できるだけ具体的に

● **保証期間中は、保証書の規定に従って出張修理いたします。**
保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間 （ただし、消耗品は除く）

● **保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。**
※修理料金は次の内容で構成されています。

技術料	診断・修理・調整・点検などの費用
部品代	部品および補助材料代
出張料	技術者を派遣する費用

※補修用性能部品の保有期間　5年
当社は、本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後 5 年保有しています。

● **アフターサービスについて、おわかりにならないとき**
お買い上げの販売会社・販売店・サービス実施会社または保証書表面に記載されています連絡先へお問合わせください。

● **使用誤り、静電気、電波の干渉、使用中に電源が切れたときなど記憶内容が変化・消失する場合があります。**
（発生した損害について、当社が責任を負えない場合があります）

- 本製品は日本国内用に設計されています。国外での使用に対するサービスはいたしかねます。
  This product is designed for use in Japan.
  Panasonic cannot provide service for this product if used outside Japan.

- 本製品は、外国為替及び外国貿易法に定める規制対象貨物（または技術）に該当します。本製品を日本国外へ輸出する（技術の提供を含む）場合は、同法に基づく輸出許可など必要な手続きをおとりください。
  Exporting this product and/or its technology from Japan is restricted by the Japanese Foreign Exchange and Foreign Trade Law. When this product and/or its technology are exported or brought out from Japan, you are required to take the necessary procedures, such as obtaining an export license from the Japanese government, in accordance with the Law.

■使いかた･お手入れ･修理などは、まず、お買い求め先へご相談ください。

■その他ご不明な点は下記へご相談ください。

パナソニック　システムお客様ご相談センター

電話 フリーダイヤル 0120-878-410（パナハ ヨイワ）　受付：9時～17時30分　（土・日・祝祭日は受付のみ）

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

ホームページからのお問い合わせは　https://sec.panasonic.biz/solution/info/

ご使用の回線（IP 電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。
本書の「保証とアフターサービス」もご覧ください。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

・ パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です）

お買い上げ日	年　　月　　日	品番　UF-5500
販売店名	電話（　　　）　　-	
サービス実施会社名	電話（　　　）　　-	

パナソニック システムネットワークス株式会社

〒812-8531 福岡市博多区美野島四丁目1番62号

XX1211AN2013
PNQW2712YB
January 2013
Printed in Malaysia